

ブックぱらっと!?!通信 学校図書館訪問記

Vol.5

豊中市教育委員会 読書振興課 電話：06-4865-3696 FAX：06-6841-3493 dokusho@city.toyonaka.osaka.jp

新しい学校図書館完成しました！ 第一中学校

訪問日：10月29日

長い長い放浪の期間を経て、第一中学校の新しい図書館が完成しました。新しい校舎は大学のキャンパスのような開放的な雰囲気です。図書館は新校舎の3階にあります。

読み物、文庫、揃ってます！→

図書館に入ると左手が読み物のコーナー。こぢんまりしたコーナーになっていて、ゆっくり本が選べそうです。



←ソファもあります！

図書館全景。窓が大きく明るい雰囲気。壁面には棚がずらり！



故事も論語も楽しくわかる・わかりあう！ 第十八中学校

訪問日：12月9日・22日

今回は、中学校1年生の国語の授業と読書月間の図書委員会活動を見学をしてきました。まずは、国語の「故事成語」の授業から。班ごとに「故事成語」の中から規定…スケートでいうとショートプログラム…指定されたもの1つと、フリーとして国語便覧にある「故事成語」から選択したもの1つ、合わせて2つの故事成語について意味・成り立ち・使用例について図書館で調べて模造紙に書き上げていました。しかし、ここで終わらないのが18中！！まさにアクティブラーニングの始まりです。国語の先生が生徒たちに与えたパフォーマンス課題は、故事成語の成り立ちの部分を寸劇にして表現するというものでした。もちろん、寸劇を始める前に意味、使用例を説明した上で演じます。生徒たちは班ごとに協力し、小道具づくりからセリフ、演技など趣向を凝らしたパフォーマンスを披露していきます。

よく聞く故事成語でも成り立ちが難しく、調べるのが大変なものもあったようですが、そこは強い味方、宇治田司書の協力でクリア！。難しい故事成語も寸劇を見ることで視覚的に印象づけることができ、演じることで理解を深めることができるのです。生徒たちがいきいきと、協力し合って取り組む姿が素晴らしかったです。今日学んだ故事成語…「守株」「背水の陣」「漁夫の利」「画竜点睛」「蛇足」「馬耳東風」「蚩雪の功」でした。

次に、3年生の図書委員による読書月間の取組みで、孔子の論語を寸劇で演じ、孔子のありがたい言葉の意味をクラスの仲間に伝えるというもの。当日、大事な役割を担う図書委員が欠席というハプニングがあるも、司書教諭の先生と宇治田司書も加わって演じられました。今回、演じられた言葉は、

「子曰、剛毅朴訥近仁。」と「子曰、不患人之不己知、患己不知人也。」

日常場面に置き換えたクラスの仲間に伝わりやすいシナリオになっておりました。寸劇のあとには、白文を書き下し分に直すという国語的活動もあり、学習にもつながっておりました。

学校図書館は、教科の学習と子どもたちの学びをつなぎます。生きた学び・活かす学びを学校図書館は応援しています！